

令和7年1月23日

1 策定の趣旨、計画の期間	
前回の会議で提案した内容	意見を踏まえて修正した箇所
<p>この計画期間中の10年間、気高地域では5つの柱に基づき取り組んだ実施計画の約8割の事業は目標を達成しました。</p>	<p>地原委員：約8割の事業は目標達成とあるが、本当に100%達成したのか。 ⇒約8割の事業は概ね目標を達成しました。と文言修正</p> <p>約8割達成、2割未達成含め、残された課題、10年間に新たに生まれた成果含め課題の記載が必要では、 渡辺副会長：文言の修正と残り2割未達成の記述がない。残り2割の事業につきましては、是非も含めて再検討したうえでといった記述が必要では、 ⇒この10年間で、気高地域では5つの柱に基づき取り組んだ実施計画の約2割の事業は目標未達となり、今後の検討課題として残りましたが、約8割の事業は概ね目標を達成しました。</p> <p>地原委員、八田委員：5つの柱に基づき取り組んだ実施計画とあるが、5つの柱を改めて記載した方がよいのではないか。 ⇒新しいプランに向けて5つの柱の記載までは考えておりません。</p>
<p>この気高地域未来プランの計画期間は、令和7年度から令和11年度の5年間として、<u>必要に応じて見直しを行います。</u></p>	<p>渡辺副会長：プランを必要に応じて見直していくことはよいことだが、目標達成をめざしていきます。といった記述がほしい。 ⇒この気高地域未来プランの計画期間は、令和7年度から令和11年度の5年間とし、<u>必要に応じて見直しを行</u></p>

	いながら、目標達成をめざしていきま <u>す。</u>
--	--------------------------------

2 地域の現況	
前回の会議で提案した内容	意見を踏まえて修正した箇所
<p><b>(1)位置・土地利用等について</b> ○気高町は<u>鳥取市北東部</u>に位置し</p> <p>3 番目○3 行目 日光集落では約 400 年の歴史がある特産の「日光生姜」が栽培されているほか、<u>他地域では「瑞穂生姜」が栽培されています。</u></p> <p>4 ページ地図</p> <p><b>(2)人口について</b> 4 ページ令和 5 年 12 月末現在の人口表 <u>気高町（全体比）</u> <u>鳥取市全体の人口 H16（合併時）</u></p>	<p>八田委員：鳥取市北西部では ⇒<u>気高町は鳥取市北西部</u>に位置し、</p> <p><u>瑞穂地区</u>では約 400 年の歴史がある特産の「日光生姜」や「瑞穂生姜」が栽培されています。</p> <p>河川名を入れてほしい。瑞穂地域に名所の記載が少ない。 渡辺副会長：ヤサホーパークの記載がほしい。瑞穂地域の記載がほしい。 木村委員：足湯（3 か所）の記載がほしい。 ⇒地図上に記載を追加しました。（河川名、武宮神社、普賢菩薩像、足湯等）</p> <p>地原委員：これまでの推移が表等で記載されているが、今後 10 年 20 年後に減少しないようなメッセージが必要では ⇒<u>今後も人口減少が進む中、気高地域においても、人口の社会減、自然減の中で、持続可能な社会への挑戦が求められています。</u> という一文を追加</p> <p>渡辺副会長：「気高町」「気高地域」と記載が分かれている。どちらかに統一した方がよいのでは、文言の修正が必要では</p>

<p>5 ページ表</p> <p><u>気高町</u>の人口の推移</p> <p><u>気高町</u>の年齢構成の推移</p>	<p>⇒意見を踏まえて<u>気高地域</u>（全体比） H16（合併時）の<u>鳥取市</u>全体の人口 <u>気高地域</u>の人口の推移、<u>気高地域</u>の年 齢構成の推移にそれぞれ修正</p>
---	--

<b>3 地域の<u>歴史</u>・<u>特性</u>・<u>資源</u></b>	
前回の会議で提案した内容	意見を踏まえて修正した箇所
<p>3 地域の<u>特性</u>・<u>資源</u></p> <p>(1) <u>地域の歴史</u></p> <p>(2) <u>地域の特性</u></p> <p>(3) <u>地域の資源</u></p>	<p>八田委員：タイトルと項目名を一致 するようにした方がよい。</p> <p>⇒3 <u>地域の歴史</u>・<u>特性</u>・<u>資源</u></p> <p>(1) <u>歴史</u></p> <p>(2) <u>特性</u></p> <p>(3) <u>資源</u></p> <p>にそれぞれ修正しました。</p>
<p><b>(1)歴史</b></p>	<p>地原委員：文章が長めであるため全部 掲載するのであれば3項目くらいに分 けた方がよいと思います。</p> <p>八田委員：全体的に長いため他の項目 と同じ程度の文量とした方がよい。</p> <p>渡辺副会長、武田委員：文章の内容修 正依頼がありました。</p> <p>⇒<u>町内から発見された遺物などから、</u> <u>少なくとも先土器時代から縄文時代</u> <u>まで遡ることができると言われてい</u> <u>ます。</u> 圃場整備事業を契機とした発掘 調査により、弥生時代の人々の生活の 痕跡が大地に刻まれていたこともわ かってきました。古墳も町全域に数多 く存在しており、特に逢坂地区を中心 とした後期の横穴式石室や上光や下 光元などにみられる横穴墓など、人々 の暮らしが特徴的な地域分布が見て 取れます。近世初頭には、亀井茲矩公</p>

<p><b>(2)特性</b></p> <p><u>南</u>は因幡富士と呼ばれる鷲峰山を仰ぎ、</p> <p>世界ジオパークに認定された<u>山陰海岸ジオパークの「浜村海岸ジオサイト」と「鹿野ジオサイト」</u>に位置付けられています。</p> <p>国道9号線及びJ R山陰本線が<u>東西</u></p>	<p>による日光池の干拓事業のほか、日光生姜の栽培や大堤池のうぐい突きなどが行われ、朱印船貿易の影響は現在にも受け継がれています。明治期になり、伯耆街道の整備による新道(県道)の敷設や鉄道山陰線の完成に合わせ、浜村温泉が発見され、鳥取藩主の保養所であったお茶屋周辺の勝見温泉から浜村駅北側周辺に温泉街や商店街がつくられていきました。</p> <p>昭和初期には、浜村温泉の活性化の一助として誕生した「浜村温泉貝殻節音頭」がレコード化され、全国的に有名になり、浜村温泉も一時の隆盛期を迎えています。昭和の時代に数回の合併を経て気高町が昭和30年(1955年)7月に誕生しました。その後、20世紀から21世紀へと時代の大きな転換期を迎え、地方分権の推進、生活圏の広域化が進む中、合併協議が重ねられ、平成16年(2004年)11月、気高町を含む鳥取県東部8町村と鳥取市との合併により現在に至っています。 と修正しました。</p> <p>渡辺副会長：<u>南</u>に因幡富士と呼ばれる鷲峰山を仰ぎ、鷲峰山が写る気高町を望んだ様子の写真に差替えてほしい。 ⇒写真を差し替えました。</p> <p>武田委員：世界ジオパークに認定された<u>山陰海岸ジオパーク</u>に位置付けられています。</p> <p>八田委員：国道9号線及びJ R山陰本線が<u>東西</u>をはしり、</p>
---	--

<p>を横断し、鳥取砂丘コナン空港や鳥取市中心市街地へのアクセスも<u>便利で</u>、      拠点となる浜村地区は、スーパーマーケット、ホームセンター、ドラッグストア、<u>金融・医療機関</u>など生活関連施設が整った利便性の高い町となり、近年住宅建設が増えています。</p> <p><b>(3)資源</b>      表中 特産品 <u>瑞穂生姜、日光生姜</u>      観光 <u>山宮阿弥陀の森</u></p>	<p>渡辺副会長：鳥取砂丘コナン空港や鳥取市中心市街地へのアクセスもよく、      八田委員：拠点となる浜村地区は、スーパーマーケット、ホームセンター、ドラッグストア、<u>金融・医療機関</u>など生活関連施設や行政施設、教育施設が整った利便性の高い町となり、近年住宅建設が増えています。</p> <p>八田委員：前述（3ページ）と順番を一致させた方がよいのではないか。      ⇒<u>日光生姜、瑞穂生姜</u>      正式名称が違っている。      ⇒<u>山宮阿弥陀森</u></p>
--	---

4 地域の現状・課題と方向性	
前回の会議で提案した内容	意見を踏まえて修正した箇所
<p>(1) 安心して暮らし続けることのできる地域の維持      こうした社会情勢の変化や複雑かつ多様化する<u>市民</u>ニーズに対応するために行政、福祉関係、自治会と<u>市民</u>が共に助け合い、支え合いながら、課題を解決していく必要があります。      また、町内の4つの小学校の学校統合の進展により、次代を担う子どもたち</p>	<p>地原委員：4項目が記載されており、説明があった方がよいのでは      八田委員：方向性の記述があった方がよい。4項目の説明がないので読み手に伝わりにくい。      ⇒冒頭に方向性の記述を追加しました。4項目に対しての説明もそれぞれ記載しました。</p> <p>地原委員：文言に市民とあるが、気高町らしい表現にした方がよい。      ⇒こうした社会情勢の変化や複雑かつ多様化する<u>住民</u>ニーズに対応するために行政、福祉関係、自治会と<u>住民</u>が共に助け合い、支え合いながら、課題を解決していく必要があります。      八田委員：項目下にそれぞれ説明があ</p>

<p>の教育環境の充実を図ることが重要課題になっています。</p> <p><u>地域に暮らすすべての人々が、安全に安心して暮らし続けられるまちづくりをめざします。</u></p> <p>○小学校統合によるまちづくり</p> <p>・4校の学校統合による<u>地域一体型の教育環境の充実</u></p> <p>○自治会加入率の<u>低下</u></p> <p>・<u>加入率向上に向けた支援・促進</u></p> <p>○子育て環境の充実</p> <p>・<u>地域食堂の充実や家庭・地域の子育て力の向上・支援</u></p>	<p>るが、分量に差があり読みづらくなっているので統一した方がよい。</p> <p>⇒分量を調整しました。(左欄下線部を削除、他の項目も他の委員の意見を参考に分量を調節しました)</p> <p>地原委員：教育環境の充実だけで終わっており、追加で文言が必要かと考える。</p> <p>⇒・4校の学校統合による<u>地域一体型の教育環境の充実とまちづくりの推進</u>を追加しました。</p> <p>渡辺副会長：他の項目と文言を統一した方がよい。</p> <p>⇒○自治会加入率の<u>向上</u></p> <p>・<u>加入率低下地域への支援</u>に修正しました。</p> <p>地原委員：自治会は重要な組織であり、地域づくりには欠かせない重要な組織である。重点的に取り組む項目に追加した方がよい。</p> <p>⇒○自治会加入率の<u>向上</u></p> <p>八田委員：地域食堂という文言はあまりなじまないように思う。こども食堂が一般的ではないか。</p> <p>武田委員：放課後児童クラブの記載もあった方がよいのではないか。</p> <p>渡辺副会長：文言の修正が必要ではないか。</p> <p>⇒<u>放課後児童クラブ、こども食堂の充実や家庭・地域での子育て力向上への支援</u>に修正しました。</p> <p>武田委員：文脈の整理が必要ではない</p>
--	--

<p>(2) 地域産業の活性化と雇用の確保  <u>新たな取組として、創意工夫を凝らした特産品の開発、企業の農業参入も視野に入れた組織化による後継者の確保、新たな販売ルートの模索などが必要となっています。さらに漁業や観光を含めた地域産業の活性化を図り、雇用の確保をめざします。</u></p> <p>○企業誘致の促進、働く場の確保  ・農業・漁業など地域産業の強化による<u>雇用創出の促進</u></p> <p>(3) 魅力ある地域づくり・人づくりの推進  人口減少が進む中、地域の担い手不足、空き家の増加などが課題となっており、将来にわたる<u>持続した地域づくり</u>が必要となっています。そのためには、住民自ら主体的に取り組む「小さな拠点」の機能形成と地域運営組織の体制強化を図り、<u>地域の資源や恵み</u>を最大限に活かすことのできる地域づくりや人づくりの活動を推進します。</p> <p>○地域の担い手育成  <u>次代を担う若者との交流支援</u></p>	<p>か。</p> <p>⇒新たな取組として、企業の農業参入も視野に入れた組織化による後継者の確保、<u>創意工夫を凝らした特産品の開発、新たな販売ルートの模索などが必要となっています。さらに漁業や観光を含めた地域産業の活性化を図り、雇用の創出</u>をめざします。 上記のとおり修正しました。</p> <p>地原委員：人口減少対策が最大のテーマであるため。働き口の確保は重要なテーマであるため、重点的に取り組む項目に追加した方がよい。</p> <p>⇒○<u>企業誘致の促進、働く場の確保</u></p> <p>武田委員：文言を他項目と一致させてみてはどうでしょうか。</p> <p>⇒・農業・漁業など地域産業の強化による<u>雇用の創出</u> に修正しました。</p> <p>渡辺副会長、武田委員：文言の修正が必要ではないか。</p> <p>⇒人口減少が進む中、地域の担い手不足、空き家の増加などが課題となっており、将来にわたる<u>持続可能な地域づくり</u>が必要となっています。そのためには、住民自ら主体的に取り組む「小さな拠点」の機能形成と地域運営組織の体制強化を図り、<u>地域の資源</u>を最大限に活かすことのできる地域づくりや人づくりの活動を推進します。 に修正しました。</p> <p>渡辺副会長：文言の修正が必要ではないか。</p> <p>⇒・<u>次代を担う若者が活躍できる活動の支援</u> に修正しました。</p> <p>地原委員：各まちづくり協議会同士の</p>
--	--

<p>○まちづくり協議会を核とした地域の魅力と活力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域とまちづくり協議会との連携による活動の支援</li> </ul> <p>(4) 交流による活性化と移住定住の推進</p> <p>気高地域の賑わいを創出し地域の活性化を図るためには、<u>交流人口の拡大は重要な課題です。令和元年5月に全線開通した山陰道鳥取西道路と同年6月にオープンした道の駅「西いなば気楽里」を核にして新たな交流が生まれてきています。</u></p> <p>地域資源である民謡貝殻節や温泉を利活用した<u>交流を促進するとともに、移住定住の促進、空き家対策の強化のほか情報発信力の向上をめざします。</u></p> <p>○地域にある観光資源の利活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>「道の駅西いなば気楽里」を核とした3町連携による新たな交流の促進、情報発信の充実</u></li> </ul>	<p>連携不足が課題と認識しています。関係機関を含めての連携強化の記載も含めた方がよいと考える。</p> <p>⇒<u>・地域内5つのまちづくり協議会や関係機関との連携支援</u>の文言を追加しました。</p> <p>渡辺副会長、武田委員：文言の修正が必要ではないか。</p> <p>⇒<u>気高地域の賑わいを創出し地域の活性化を図るためには、交流人口の拡大が重要な課題です。令和元年5月に全線開通した山陰道鳥取西道路と同年6月にオープンした道の駅「西いなば気楽里」を核にして生まれてきている新たな交流をさらに促進できるよう努めます。</u></p> <p><u>また、地域資源である民謡貝殻節や温泉を利活用した交流の促進や移住定住の促進、空き家対策の強化のための地域の情報発信力の向上をめざします。</u>に修正しました。</p> <p>八田委員：上記と文言を統一した方がよいのではないか。</p> <p>⇒<u>・道の駅「西いなば気楽里」を核とした3町連携による新たな交流の促進、情報発信の充実</u></p>
---	---



5 めざす将来像	
前回の会議で提案した内容	意見を踏まえて修正した箇所
<p><u>これら先人が創意工夫しながら伝えてきたさまざまな物産があり、そして、自然災害が比較的少なく、JR山陰線、国道9号など交通アクセスの利便性が高く生活関連施設など住みやすい生活環境が整ったまちです。</u></p> <p><u>これらのかげがえのない地域の資産や誇りを受け継ぎ、夢や希望をもって住民と行政が協働して地域の活性化に取り組むことによって、地域の力と誇りを高め、魅力的で創造力にあふれた、安心して安全に心豊かに暮らせる「ときめきのまち気高町」をめざします。</u></p> <p><u>また、山陰道鳥取西道路の開通効果により、鳥取市中心部や倉吉方面への通勤や通学、買い物などの利便性がさらに向上していることを活かし、これまで以上に幅広い世代が多様なライフスタイルで暮らせる<u>気高町</u>をめざします。</u></p>	<p>渡辺副会長：冒頭で気高地域の将来像を表現するスローガンが記載されているため、内容についてもう少しその語句を使った記載があった方がよい。</p> <p>八田委員、武田委員：文脈の修正と全体的に文章が長めのため、もう少し短めに修正した方がよい。</p> <p>⇒<u>これらは先人が創意工夫しながら伝えてきた心ときめく地域の宝です。そして、気高町は自然災害が比較的少なく、JR山陰線、国道9号など交通アクセスの利便性が高く生活関連施設など住みやすい生活環境が整ったまちです。</u></p> <p><u>また、山陰道鳥取西道路の開通効果により、鳥取市中心部や倉吉方面への通勤や通学、買い物などの利便性がさらに向上しています。</u></p> <p><u>これらのかげがえのない地域の力と誇りを大切にし、さらには若者や子育て世代にとっても「気ぶん☆さい高」で「ときめく」魅力的な町になるよう創意工夫しながら、夢や希望をもって住民と行政が協働して地域の活性化に取り組んでいきます。そして地域の力と誇りを高め、これまで以上に幅広い世代が多様なライフスタイルで心豊かに暮らせる「ときめきのまち気高町」をめざします。</u></p>